令和7年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

東神楽沢（ひがしかぐらさわ）　土石流対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

・近年は集中豪雨が多く、土石流などの自然災害に不安を抱いている。（地元住民）
・砂防堰堤を早期に完成させてほしい。（地元住民）

事業の概要

■ 事業箇所：みなかみ町羽場
■ 事業内容：砂防堰堤　1基
■ 事業期間：令和3年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

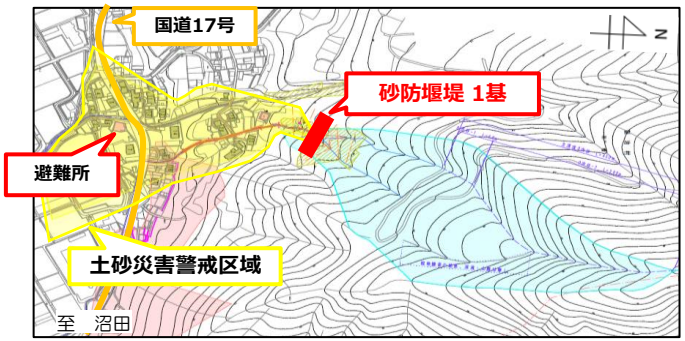
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	49戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設（下羽場公民館）	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所（国道17号）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、前庭保護工と管理用道路の工事を実施します。

前庭保護工事状況

事業のすすみ具合　事業開始 ●――――●　事業完了